



8月19日(金)、20日(土)、21日(日)の3日間限定!

横浜美術館は、託児サービスを実施します

横浜美術館では、小さなお子さまのいる方にも安心してゆっくりと鑑賞を楽しんでいただくため、8月19日(金)、20日(土)、21日(日)の3日間、託児サービスを実施します。

当館では現在、「母子像の画家」と呼ばれた印象派を代表する米国女性画家の回顧展「**メアリー・カサット展**」と、本展に連動して「女性作家」というテーマで展示している「**横浜美術館コレクション展 2016年度第1期**」を好評開催中です。日頃、お子さまとご一緒に、ゆっくりと展覧会を鑑賞することがままならないお母さま、お父さま方にも、この託児サービスの機会に、ぜひ心ゆくまで展覧会を楽しんでいただきたく、広くご報道くださいますようお願いいたします。



※昨年度実施の様子

横浜美術館 託児サービス 実施概要

実施日時：2016年8月19日(金)、20日(土)、21日(日)

各日とも 13:30~16:00

定員：各日最大10名

対象：1歳~未就学児

場所：横浜美術館内

(〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1)

料金：1,000円(お子様おひとりにつき ※展覧会観覧料は含みません)

※開館時間：10:00~18:00(入館は17:30まで)

メアリー・カサット展

印象派を代表する米国女性画家、メアリー・カサットの日本では35年ぶりとなる回顧展。画家を志して21歳のときにパリに渡ったカサット。新しい絵画表現を模索するなかでエドガー・ドガと出会い、印象派展に参加するようになります。温かいまなざしで捉えた母子の姿は多くの共感を呼び、やがて「母子像の画家」と呼ばれるようになりました。女性の職業画家がまだ少なかった時代に、さまざまな困難を乗り越えて画家となる意志を貫いたカサットの生き方は、現代の我々にも勇気を与えてくれます。

本展では、カサットの油彩画やパステル画、版画の代表作に加え、交流のあった画家たちの作品、画家が愛した日本の浮世絵版画や屏風絵なども併せて合計約100点を展観し、初期から晩年にいたる画業の全貌を紹介します。

◇カサット展：<http://cassatt2016.jp/>

◇横浜美術館コレクション展 2016年度第1期：

<http://yokohama.art.museum/exhibition/index/20160423-469.html>



《眠たい子どもを沐浴させる母親》
1880年 ロサンゼルス郡立美術館蔵
Digital Image © 2015 Museum Associates /
LACMA. Licensed by Art Resource, NY

※この機会に、広くご報道いただければ幸いです。

お問合せ先 *本日は17時まで在席しております。

横浜美術館 【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】

経営管理グループ 広報・渉外チーム 担当グループ長 西澤

Tel 045-221-0368

広報担当 宮野、藤井、長濱

Tel 045-221-0319